

# 中山間地域等における企業の 社会貢献活動(CSR)の取組事例集



平成26年3月

中国圏広域地方計画推進室

(国土交通省 中国地方整備局 企画部 広域計画課)

## 目 次

### 企業の社会貢献活動の取組事例

#### ■環境保全活動

- 【事例1】 「JTの森 智頭」における森林保全活動..... 2  
企業：日本たばこ産業株式会社 地域：鳥取県智頭町
- 【事例2】 とっとり日通の森における森林育成活動..... 4  
企業：日本通運株式会社 地域：鳥取県日南町
- 【事例3】 「ひろぎんの里山」における植樹活動..... 6  
企業：広島銀行 地域：日新林業株式会社（広島県安芸太田町）
- 【事例4】 『未来へつなげよう「やまぎんの森」』における森林整備活動..... 8  
企業：山口銀行 地域：山口県下関市

#### ■農地再生・農作業支援

- 【事例5】 地域の子供たちと一緒に取組むお茶のブランド化..... 10  
企業：キャノンマーケティングジャパン（株） 地域：三重県大紀町野原地区

#### ■集落の共同作業の支援

- 【事例6】 高齢集落における「地域の困った」を手助けする集落支援活動..... 12  
企業：シャープ（株） 三重工場 地域：三重県大台町浦谷地区他
- 【事例7】 老舗企業として地域の貢献をめざした集落の共同作業の支援..... 14  
企業：（株）土井豆組 地域：島根県出雲市（出雲市集落応援隊）
- 【事例8】 地元に愛される企業をめざし集落の共同作業の支援..... 16  
企業：ソニーセミコンダクタ（株）大分テクノロジーセンター 地域：大分県国東市国東町赤松（大分県小規模集落応援隊）
- 【事例9】 とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業への参加による社会貢献活動..... 18  
企業：徳島インディゴソックス球団 地域：徳島県内の農山漁村地域（とくしま農村漁村応援し隊）

## ■資金援助・物的支援

【事例 10】 食を通じた地域活性化への取組..... 20  
企業：(株) フーズクリエーション 地域：三重県松阪市宇気郷地区

【事例 11】 所縁の深い井原市との「まちづくり」に関する協定の締結..... 22  
企業：サッポロビール (株) 中四国本部 地域：岡山県井原市

## ■買い支え・販売支援

【事例 12】 農業者等との連携による地産地消の推進及び地域経済への貢献..... 24  
企業：(株) キヌヤ 地域：島根県益田市周辺の生産者等

中間支援組織の取組事例
-------------

【事例 13】 出雲市集落応援隊 (島根県出雲市) ..... 27

【事例 14】 とくしま農山漁村 (ふるさと) 応援し隊事業 (徳島県) ..... 29

【事例 15】 大分県小規模集落応援隊 (大分県) ..... 31

【事例 16】 おかやま元気! 集落応援団 (岡山県中山間地域協働支援センター) ..... 33

【事例 17】 鳥取県「とっとり共生の森支援事業」 ..... 35

■事例掲載企業の業種・規模

社会貢献活動の種類		企業	業種	社員数等	自治体	人口(人)		高齢化率
						総数	高齢者 (65歳以上)	
事例1	森林保全活動	日本たばこ産業(株)	製造業 (たばこ、医薬、食品)	約49,000名	鳥取県 智頭町	7,718	2,741	35.5%
事例2	森林育成活動	日本通運(株)	運輸業	約36,000名	鳥取県 日南町	5,460	2,556	46.8%
事例3	植樹活動	広島銀行	金融業	約3,200名	広島県 安芸太田町	7,255	3,288	45.3%
事例4	森林整備活動	山口銀行	金融業	約1,845名	山口県 下関市	280,947	80,199	28.5%
事例5	茶畑の再生	キャノンマーケティングジャパン(株)	情報通信	約4,890名	三重県 大台町	10,416	3,689	35.4%
事例6	集落の共同作業の支援	シャープ(株) 三重工場	製造業 (液晶ディスプレイパネル)	約1,960名	三重県 大紀町	9,846	3,930	39.9%
事例7	集落の共同作業の支援	(株) 土井豆組	建設業	18名	島根県 出雲市	143,796	37,707	26.2%
事例8	集落の共同作業の支援	ソニーセミコンダクタ(株) 大分テクノロジーセンター	製造業(半導体等)	約500名	大分県 国東市	32,002	11,601	36.3%
事例9	協働活動による 集落支援	徳島インディゴソックス球団	野球興行	約40名	徳島県	785,491	209,926	26.7%
事例10	資金援助	(株) フーズクリエーション	飲食業	約260名	三重県 松阪市	168,017	41,525	24.7%
事例11	資金援助	サッポロビール(株) 中四国本部	製造・販売(飲料)	約2,300名	岡山県 井原市	43,927	13,719	31.2%
事例12	販売支援	(株) キヌヤ	小売業 (スーパーマーケット)	約720名	島根県 益田市	50,015	15,466	30.9%
事例13	中間支援組織	島根県出雲市	自治体					
事例14		徳島県	自治体					
事例15		大分県	自治体					
事例16		岡山県中山間地域協働支援センター	NPO					
事例17		鳥取県	自治体					

自治体人口：平成22年国勢調査

## 企業の社会貢献活動の取組事例



# 「JTの森 智頭」における森林保全活動

自然の恵みに事業が支えられていることへの感謝としての森林保全活動



## 活動の概要

事業を支える自然への感謝と地球環境への配慮

企業名	日本たばこ産業株式会社	業種	製造業 (たばこ、医薬品)	活動地域	鳥取県智頭町
活動種類	森林保全活動	活動期間	平成 17 年～	中間支援組織	鳥取県／智頭町
URL	<a href="http://www.jti.co.jp/csr/forest/index.html">http://www.jti.co.jp/csr/forest/index.html</a>				

日本たばこ産業(株) (以下「JT」と言う。)は、事業を支える自然への感謝と地球環境を大切に思う気持ちから、全国9箇所の「JTの森」で森づくりに取り組んでいます。

「JTの森 智頭」では、森林組合に委託し森林整備を進める一方で、JTグループ従業員も森づくりに参加しています。午前中には地域の方と協働で、森林保全活動(間伐、植林、下草刈り、雪起こし等)を行い、午後からは、巣箱作りや木工体験等、地域との交流も大切にしています。



下草刈り作業



## 活動のきっかけ

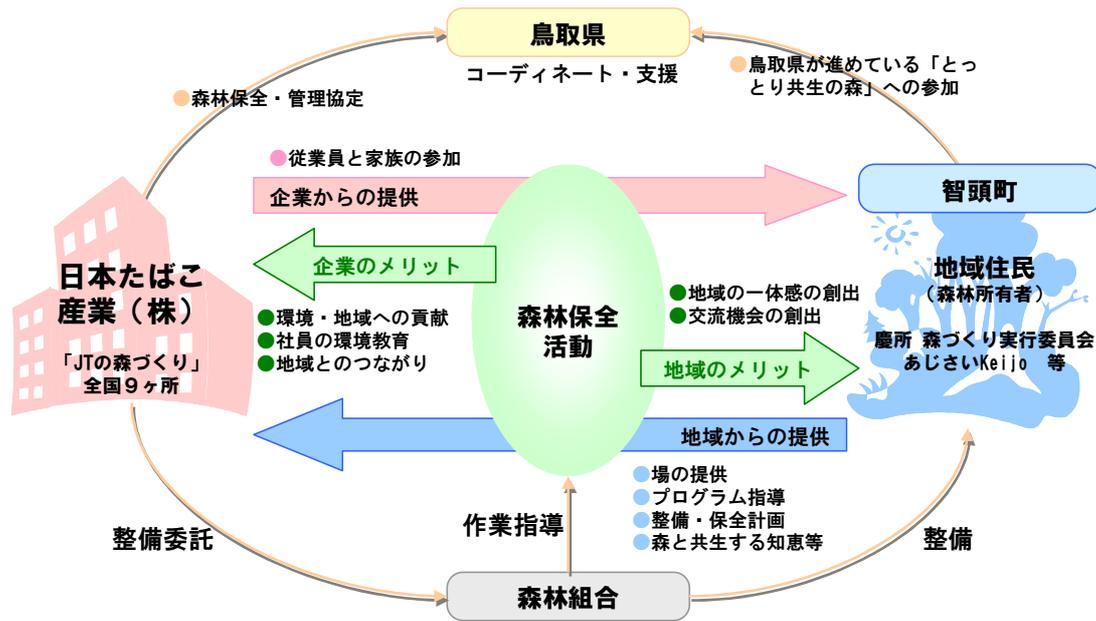
現地調査やヒアリングで智頭町を選定

鳥取県から「とっとり共生の森」への参画の提案があり、活動がスタートしました。

段階	取組の概要
きっかけ	・2004年に「JTグループ環境憲章」を策定し、植物を中心とした原材料を多数使用し、自然の恵みに事業が支えられていることから森林保全活動に取り組むこととしました。
地域の選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他県でのJTの森林保全活動を知った鳥取県から「とっとり共生の森」への参画の提案があり、県からいくつかの候補地の提示がありました。</li> <li>・現地視察やヒアリングの結果、早急な整備が望まれる森林で公益性も高く、地域と一体で取り組める智頭町慶所集落の所有林を選定しました。</li> </ul> <p>【選定のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風による倒木被害等が生じ、森林再生のニーズが高いこと</li> <li>・行政、森林組合、地域と一体で取り組める体制があること</li> </ul>
地域との合意	・鳥取県の仲介のもと、智頭町と合意しました。



【取組の体制】



取組の特徴

集落の行事として企業・地域住民等が一体となって活動！

集落の行事として、住民のみんなが参加！

地域住民の組織である「慶所森づくり実行委員会」や「あじさいKeijo」等が、JTグループの従業員が参加する森林保全活動を「集落の行事」として迎え入れ、作業指導、昼食、昼食後のイベント企画を担っています。

地域住民の多くの方々が参加し、企業・地域住民・行政等が協働で取組み、連帯感のある森づくりが展開されています。



地元の方の手作りの芋汁でのもてなし

整備計画や森林保全活動の目的・将来像を共通認識とした活動の展開！

各年度の整備計画は、森林所有者と智頭町が協力して作成しています。JTにおいても整備計画や森林保全活動の目的・将来像を参加者全員の共通認識とするように努め、目指す森の実現に向け、企業・地域・地域住民等が一体となって活動を展開しています。

また、具体的な作業においては、植栽や間伐、作業道整備等、作業内容を3～4程度に分類し、参加者の体力や要望に応じた作業班を編成する等、参加者一人ひとりが、森づくりへの貢献を実感できるような工夫を行っています。



森林保全活動時の集合写真



# とっとり日通の森における森林育成活動

## 環境保全への貢献と従業員等の環境意識の醸成に向けた森林育成活動



### 活動の概要

#### 環境保全への貢献と従業員等の環境意識の醸成に向けた森林育成活動

企業名	日本通運株式会社	業種	運送業	活動地域	鳥取県日南町
活動種類	森林育成活動	活動期間	平成21年～	中間支援組織	鳥取県
URL	<a href="http://www.nittsu.co.jp/corporate/contribution/afforest.html">http://www.nittsu.co.jp/corporate/contribution/afforest.html</a>				

日本通運(株)は、地球温暖化防止及び生物多様性の保全に貢献するとともに、従業員と家族の環境意識の醸成に向け、全国3ヶ所で森林育成活動を行っています。

鳥取県日南町の「とっとり日通の森」では、年2回(7月と10月頃)、1泊2日の日程で、1日目は森林育成活動(植樹活動や遊歩道の整備等)を行い、2日目は日南町内での農業体験等のイベントに参加する形式としています。



活動の様子



### 活動のきっかけ

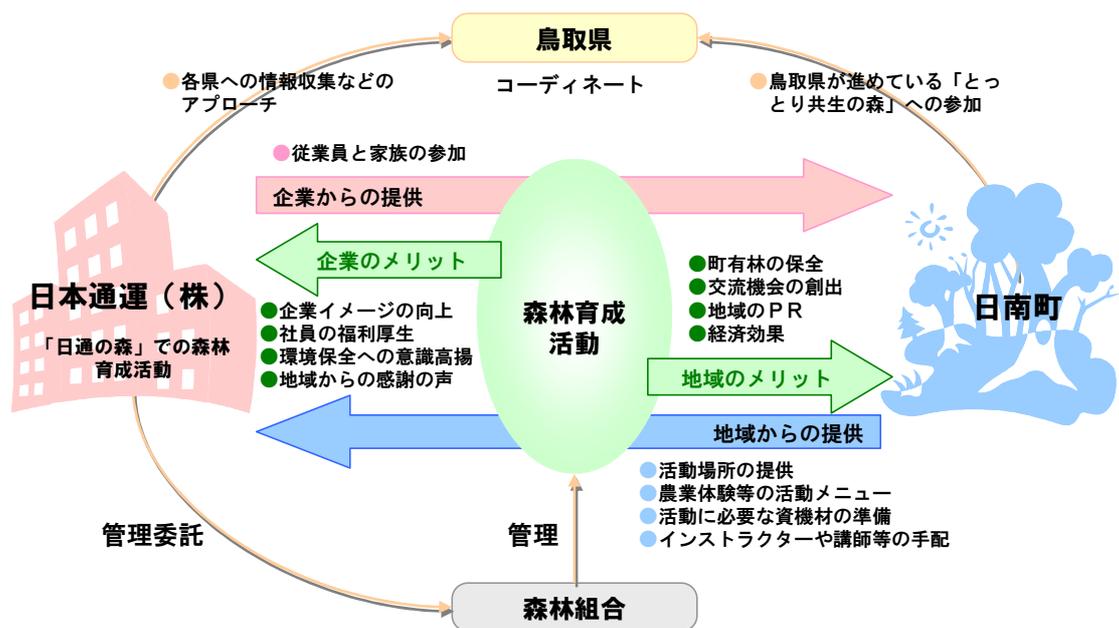
#### 鳥取県のコーディネートによるマッチング

「とっとり日通の森」における森林育成活動は、鳥取県の「とっとり共生の森」の取組を活かした企業と地域の連携活動です。

段階	取組の概要
きっかけ	・創業70周年を迎えた2007年に、様々な社会貢献活動をスタートさせ、その中の一つとして森林育成活動を取組みはじめました。
地域の選定	・西日本の活動拠点を探す中で、鳥取県の支援を得て、選定条件に適した活動場所として鳥取県日南町の紹介を受けました。 ・主な選定条件は、①岡山の事業所から交通の便(公共交通機関によるアクセス)が良いこと、②1泊2日の活動として宿泊場所が確保できること、③万が一の際に備え近くに病院があること 等です。
地域との合意	・鳥取県の仲介のもとで、地元の森林組合の協力が得られることを確認し、鳥取県日南町で活動を行うことを合意しました。



## 【取組の体制】



## 取組の特徴

社員の福利厚生の充実や地域との交流等による継続的な活動！

## 地域との交流や参加者の楽しみを生み出す活動の実施！

活動工程を1泊2日とし、森林育成活動の他に、地元の郷土料理を食べたり、地域と共同イベントを実施することによって、地域との交流を深めています。

イベントの実施にあたっては、地域の方々の協力を得ながら、登山や森の恵みを利用した遊び、もちつき体験、魚のつかみ取り等を実施しており、参加者も楽しむことができる活動とし、次回の参加につながるよう工夫しています。



森の恵みを利用した遊び

## 社会貢献活動を通じた社員の福利厚生の充実！

日本通運(株)では、社会貢献活動として森林育成活動に取り組んでいます。この活動への参加に伴う宿泊費や食費、片道の交通費は、社員の福利厚生の一環として会社が負担し、社員が参加しやすい環境をつくることで、会社全体としての社会貢献活動の推進に繋がっています。

また、この活動には、社員の家族も参加することができ、社員同士の交流に加え、家族同士や親子がふれあえる機会となっていることから、社会貢献活動が社員の福利厚生の充実に繋がっています。



苗木の植樹作業



# 「ひろぎんの里山」における植樹活動

郷土の豊かな自然環境を守り、将来の世代により良く引き継いでいくための森林保全活動



## 活動の概要

地域に根付いた活動として、地元の森林業者との連携による森林保全活動

企業名	広島銀行	業種	金融業	活動地域	広島県安芸太田町
活動種類	植樹活動	活動期間	平成 22 年～	中間支援組織	—
URL	<a href="http://www.hirogin.co.jp/company/csr/ecology/index.html">http://www.hirogin.co.jp/company/csr/ecology/index.html</a>				

広島銀行では、本業における地域貢献とあわせて、様々な環境保全活動に取り組んでいます。

その一環として、郷土の豊かな自然環境を守り、将来の世代により良く引き継いでいくため、日新林業株式会社の社有林（安芸太田町内）において、年 1 回、広島銀行の従事者とその家族が参加し、「ひろぎんの里山」植樹活動を実施しています。



「ひろぎんの里山」での植樹

平成 22 年から 5 年間の計画で、3.0ha の範囲に 1,500 本の植樹活動を進めています。植樹する樹種は、生物多様性の保全の観点から、木の実のなる郷土種として、クリ・クヌギ・ヤマザクラ・ブナ等の広葉樹を選定しています。



## 活動のきっかけ

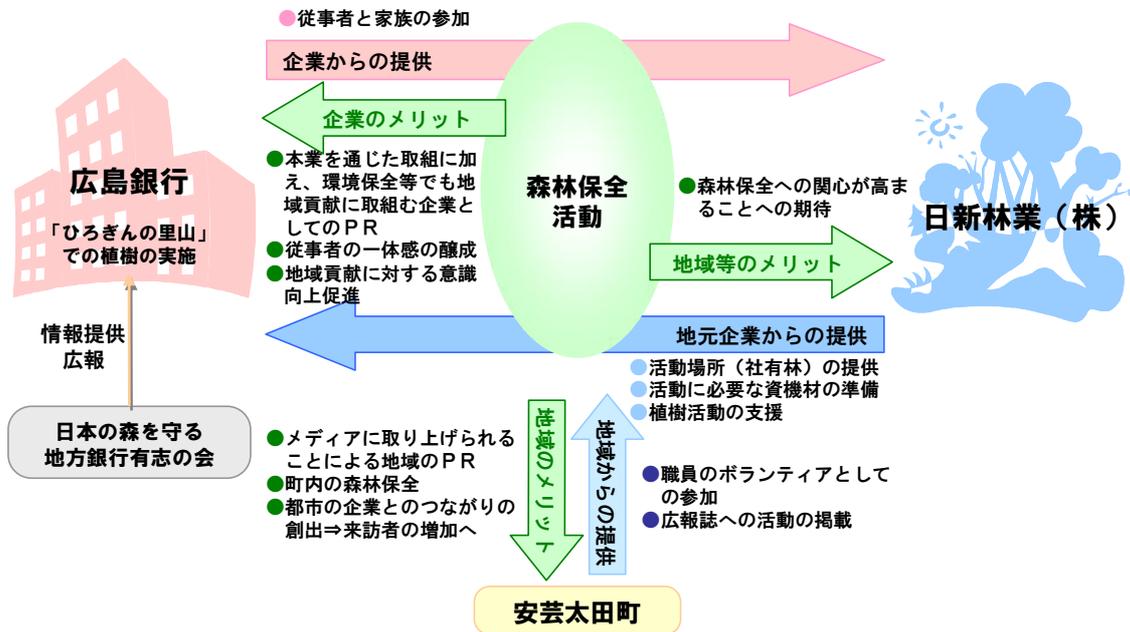
地元の森林業者との連携によるスムーズな活動への展開

「ひろぎんの里山」における植樹は、地元森林業者との連携により取組まれています。

段階	取組の概要
きっかけ	・「日本の森を守る地方銀行有志の会」への参加をきっかけに、環境保全活動に取り組むこととしました。
地域の選定	・本店から比較的アクセスが良いことを条件に、情報収集を行う中で、取引先である日新林業株式会社へ相談しました。
地域との合意	・日新林業株式会社からの提案で、①山に不慣れな方や子どもの参加があること、②駐車場から離れていないこと、③傾斜のきつくなく安全な場所であること 等の条件により、日新林業株式会社社有地で活動を行うこととなり、スムーズな合意となりました。



【取組の体制】



取組の特徴

企業と地域の連携を高め楽しみのある活動へ！

行政（安芸太田町）の積極的な活動の支援！

植樹活動は、企業の社有林を活動の場としていますが、安芸太田町が積極的な活動支援を行っています。例えば、森林浴を通じ健康の維持・増進を図る「森林セラピー」体験の指導等で、森林の魅力を感じるとして参加者の好評を得ています。



森林保全活動の様子

安芸太田町としても、企業の社会貢献活動が取組まれることによって、町内の森林保全が図られるとともに、都市の企業とのつながりを高め地域経済の活性化に寄与するものとして、理解・協力を得られています。

家族で楽しめる活動としての工夫！

第1回の参加者が140名、第2回が180名、第3回が250名と、活動の回数が増すごとに参加者が増えています。活動への理解が深まるとともに、参加者を通じた呼びかけ等により、従事者とその家族、地元住民の参加が広がっています。

また、家族や子どもの参加が多いことから、森林散策におけるクイズ形式の解説や、敷地内にカブトムシの産卵場を設けて子どもたちにプレゼントを行うことを検討する等、活動内容のマンネリ化を防ぎ家族で楽しめる工夫に取り組んでいます。



## 『未来へつなげよう「やまぎんの森」』における森林整備活動

## 豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐための森林整備活動



## 活動の概要

地域の豊かな自然環境を未来へつなげる想いと決意

企業名	株式会社山口銀行	業種	金融業	活動地域	山口県下関市
活動種類	森林整備活動	活動期間	平成 23 年～	中間支援組織	山口県
URL	<a href="http://www.yamaguchibank.co.jp/">http://www.yamaguchibank.co.jp/</a>				

株式会社山口銀行は、地域に根ざす金融機関として地域の豊かな自然資源を次世代へつなげたい想いと自然環境を大切にしたい決意から、『未来へつなげよう「やまぎんの森」』と命名し、下関市内の個人が所有する森林、計6.2haで森づくりに取り組んでいます。

市内3箇所の「やまぎんの森」のうち2箇所は山口県西部森林組合に委託し森林整備を進め、うち1箇所は行員自らが植樹を実施しています。森林組合による針葉樹の間伐、行員による下草刈などの環境保全目的の他、地域住民参加型の地域振興目的のため、新老人の会、地元小学生や当行新入社員による世代を超えた森林整備活動を実施しています。



森林整備活動の様子



## 活動のきっかけ

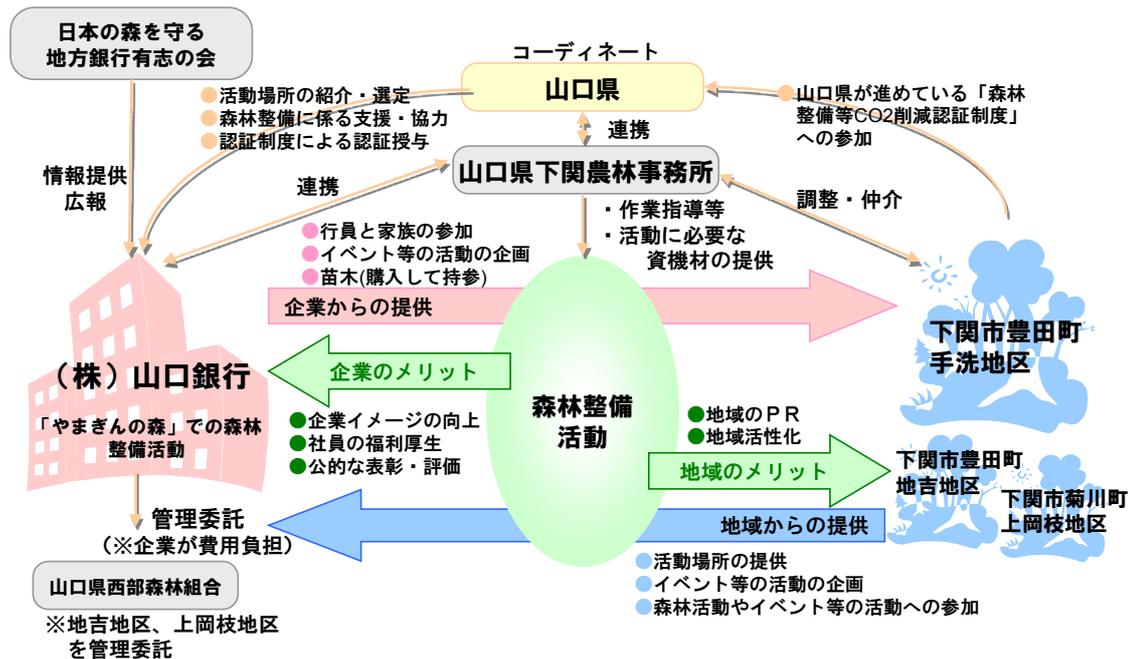
森林整備活動への意識が高まる中、山口県からの取組提案により活動開始

山口県から「森林整備等 CO<sub>2</sub>削減認証制度」適用活動への取組提案があり、活動がスタートしました。

段階	取組の概要
きっかけ	・2009年より「日本の森を守る地方銀行有志の会」に参画し、地方銀行として当行独自の森林整備活動を模索していたところ、山口県から「森林整備等 CO <sub>2</sub> 削減認証制度」適用活動への取組提案があり、具体的な活動として、「未来へつなげよう『やまぎんの森』」に取組むこととなりました。
地域の選定	・山口県の協力により候補地を絞り込み、行内で合意形成を図り、当行の活動目的に適しており、かつ活動がしやすい場所を選定しました。
地域との合意	・山口県下関農林事務所の仲介のもと合意しました。



## 【取組の体制】



## 取組の特徴

社員の福利厚生の実施や地域との交流等による継続的な活動！

## 「やまぎんの森」 温暖化防止で県認証制度第1号！

山口県が創設した「森林整備等CO<sub>2</sub>削減認証制度」に基づき、制度創設以来、同行が初めて認証され、森林整備活動に取り組んでいます。

地域の豊かな自然環境を次世代へ引き継ぎ、二酸化炭素の削減による地球温暖化対策の一助となることを目的に、第1回の活動では、下関市豊田町手洗にある「やまぎんの森」にて当行の行員とその家族がイロハモミジ、ヤマザクラ、ケヤキの計280本を約0.5haへ植樹しました。同行の試算では、10年間の森林整備活動でCO<sub>2</sub>約700tの削減に貢献できる見込みです。



調印式の様子

## 地域との交流や参加者の楽しみを生み出す活動の実施！

平成24年11月の活動には、行員及び新老人の会、地元小学生等115名が参加して、植栽木の整備及び再生竹の除去等の森林整備活動を行ったほか、行員と地域の相互でアイデア出しをしながら、木工体験(ミニクリスマスツリー)も実施しています。

森林整備活動では、行員の家族も参加する機会が多く、屋外活動に従事することで福利厚生面にも一定の効果があり、行員のリフレッシュにつながっています。また、今後も継続して森林整備を行い交流の場として活用することとしています。



木工体験活動の様子



# 地元の子どもたちと一緒に取り組むお茶のブランド化

次世代の子どもたちの育成と農地再生をめざした支援



## 活動の概要

事業を支える自然への感謝と地球環境への配慮

企業名	キヤノンマーケティングジャパン株式会社	業種	情報通信	活動地域	三重県大紀町
活動種類	茶畑の再生活動	活動期間	平成22年～	中間支援組織	NPO 法人アサザ基金
URL	<a href="http://cweb.canon.jp/csr/furusato/activity/mie.html">http://cweb.canon.jp/csr/furusato/activity/mie.html</a>				

三重県大紀町七保地区は、お米やお茶の栽培、畜産業等が営まれています。しかし、少子高齢化等による後継者不足もあり、耕作放棄地は年々増加し、農業の衰退が地域の大きな課題となっています。

このような課題の解決に取り組む地元の「野原村元気づくり協議会」は、地元小学生と一緒に地域を元気にするための活動を進めています。その活動の中で、子どもたちが現地調査、聞き取り調査を行ったところ、茶畑が七保の宝物に変わるのではという提案があり、「お茶のブランド化」を目指した活動を展開していました。



茶摘み作業の様子

この活動（茶畑の再生、茶畑の茶摘み等）に対し、キヤノンマーケティングジャパン(株)（以下「キヤノンMJ(株)」）が社会貢献活動として支援を行っています。



## 活動のきっかけ

人脈のあったNPOの提案から始まった活動

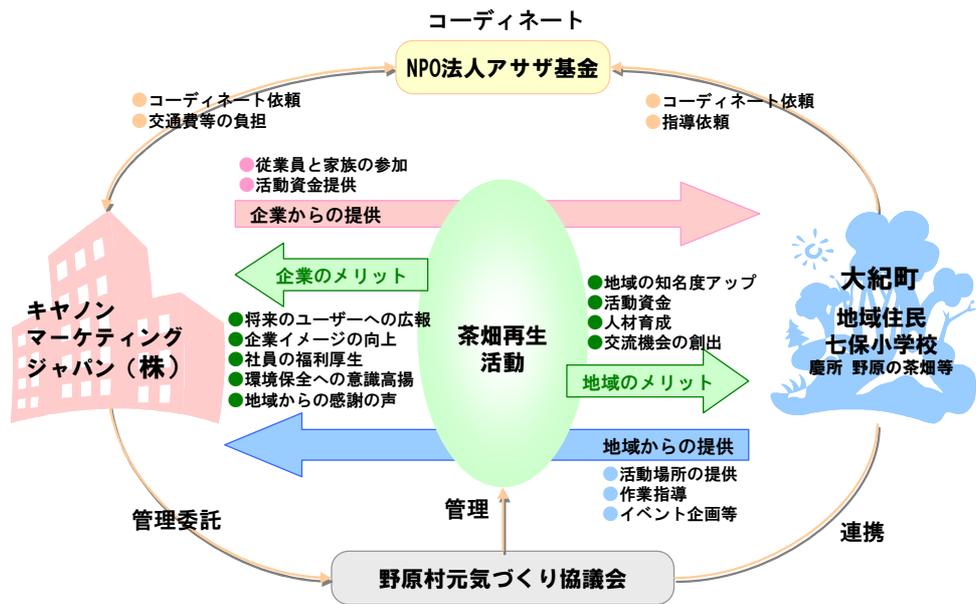
キヤノンMJ(株)は、CSR活動「未来につなぐふるさとプロジェクト」のひとつとして中山間地域における耕作放棄地の増加、農業衰退といった課題解決の一助となる活動を行っています。

三重県大紀町での取組は、茨城県で連携しているNPOからの提案により始まったものです。

段階	取組の概要
きっかけ	・キヤノンMJ(株)は、国内の様々な地域で自然再生活動「未来につなぐふるさとプロジェクト」に取り組んでいます。
地域の選定	・茨城県の自然再生活動で連携しているNPO法人アサザ基金から、大紀町の活動支援の提案を受けました。
地域との合意	・NPO法人アサザ基金や大紀町、地元の「野原村元気づくり協議会」と協議した結果、キヤノンMJ(株)が期待する社会貢献活動の内容と合致したため、人的・資金的な支援を行うこととしました。



【取組の体制】



取組の特徴

地域住民との交流やNPOとの連携を通じて地域への貢献！

地元の小学生や地域住民といっしょに楽しむ様々な交流活動！

茶畑の再生活動には、地域住民や地元の小学生も参加しており、参加者を楽しませる様々な交流イベントを開催しています。

これまで、カブトムシ観察や川遊び、木工クラフト作り等、社員の家族や地元の小学生がいっしょになって楽しめる活動を行っています。また、夜には、地元の小学生や地域住民の方々とバーベキュー等を開催し、地元の鹿肉や猪肉、鮎、野菜等が振る舞われ、地域住民との交流を深めています。



川遊びの様子

NPOと連携した地域支援活動の展開！

キャノンMJ(株)では、企業のCSR活動として、平成22年から「未来につなぐふるさとプロジェクト」を国内のさまざまな地域で展開しています。このプロジェクトでは、日本各地でNPOとの連携を図りつつ、地域との協働により、森林や干潟の保全活動、耕作放棄地の再生活動等、地域に根付いた活動を展開しています。

NPOと連携を図ることで、NPOの有する環境保全活動の経験や地域の情報等を活用することができ、地域の求める期待に応えていくことが可能となります。



NPOと連携した各地の取り組み



# 高齢化集落における「地域の困った」を手助けする集落支援活動 三重県一の貢献活動工場を目指して



## 活動の概要

### 高齢化集落における「地域の困った！」を手助け

企業名	シャープ株式会社 三重工場	業種	製造業	活動地域	三重県大台町
活動種類	集落の共同作業の支援	活動期間	平成 22 年～	中間支援組織	—
URL	<a href="http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/environment/plantreport/">http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/environment/plantreport/</a>				

三重県大台町の山間部は、過疎化・高齢化が進む集落が多くあります。このような地域では、従来、地区住民の寄り合いにより実施されていた道路や側溝等の清掃作業ができずに放置され、ごみや土砂が溜まる等の環境悪化が問題となっています。



シャープ（株）三重工場

そのため、シャープ(株)三重工場では、大台町浦谷地区（限界集落）において、「地域の困った！」を手助けするため、社員とその家族で年2回、地区の草刈りや清掃等の支援を行っています。



## 活動のきっかけ

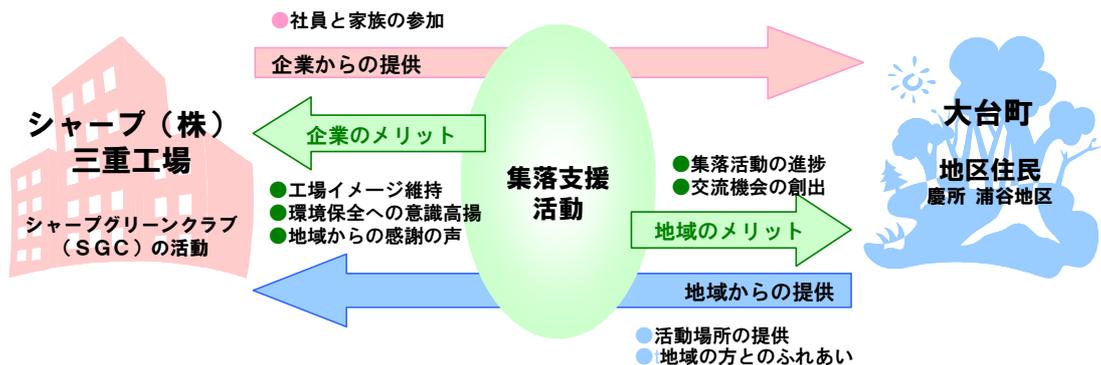
### 地域に愛され続ける工場をめざして

三重工場では、1995年に操業を始めて以来、事業活動が継続できたのは、地域の方々の支援と理解があったものと考えています。それに応えるため、環境保全活動や社会貢献の在り方を協議する工場内のシャープグリーンクラブ（略称SGC、三重環境安全推進センター（事務局）及び総務部、労働組合等で組織）が活動を企画し、実現を図りました。

段階	取組の概要
きっかけ	・三重県内に存在する工場として、地元の方々に愛され続けるためには、地元への社会貢献が必要と考えており、具体的な社会貢献の方法を模索していました。
地域の選定	・シャープ(株)三重工場では、大台町での森林保全活動に取組んでいましたが、その活動が一段落したため、次の新たな活動として、過疎化や高齢化の著しい集落の支援を行うことを大台町に提案しました。それを受け、大台町から、限界集落である浦谷地区を紹介されました。
地域との合意	・三重工場におけるこれまでの社会貢献活動に対する実績があり、話し合いは順調に進みました。



【取組の体制】



取組の特徴

「三重県一の貢献工場」をめざした豊富な社会貢献活動の実績！

社会貢献活動の専門部署の設立により、多様な社会貢献活動の実践！

三重工場は「三重県一の貢献活動工場」を目指していることもあり、「三重環境安全推進センター」が専門部署となって、環境保全活動、学校の支援活動及び地域貢献活動を行っています。

中山間地域等への社会貢献活動に限れば、大台町及び多気町での年4回の活動となっていますが、環境保全活動及び学校の支援活動を含めると、2011年の全活動回数は138回（右表）に及んでいます。

【2011年度の活動実績】 緑文字：環境保全活動、青文字：学校の支援活動、赤文字：地域貢献活動

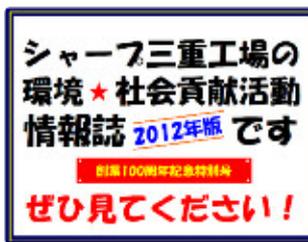
月	活動内容	月	活動内容	月	活動内容
4月	環境安全推進センターの取組 多気町からスワム広場の清掃 津田小 タケノコ園 外城野小 タケノコ園 新野高 環境授業	7月	環境安全推進センターの取組 大台町からスワム広場の清掃 津田小 タケノコ園 外城野小 タケノコ園 新野高 環境授業	12月	大台町森林整備 地区住民との交流 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業
5月	環境安全推進センターの取組 多気町からスワム広場の清掃 津田小 タケノコ園 外城野小 タケノコ園 新野高 環境授業	8月	環境安全推進センターの取組 大台町からスワム広場の清掃 津田小 タケノコ園 外城野小 タケノコ園 新野高 環境授業	1月	大台町森林整備 地区住民との交流 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業
6月	環境安全推進センターの取組 多気町からスワム広場の清掃 津田小 タケノコ園 外城野小 タケノコ園 新野高 環境授業	10月	環境安全推進センターの取組 大台町からスワム広場の清掃 津田小 タケノコ園 外城野小 タケノコ園 新野高 環境授業	2月	大台町森林整備 地区住民との交流 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業
		11月	環境安全推進センターの取組 多気町からスワム広場の清掃 津田小 タケノコ園 外城野小 タケノコ園 新野高 環境授業	3月	大台町森林整備 地区住民との交流 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業 大台町小 気象キャスター授業

社会貢献活動の実績（2011年度）

環境社会貢献情報誌の発行による幅広い情報発信！

三重工場では、環境社会貢献の活動の状況を「環境社会貢献活動情報誌」にまとめ、HP上で公開し、幅広い情報提供に努めています。

作成した情報誌は、周辺市町の図書館等への設置、多気町の協力を得て全戸に回覧する等、地域住民への幅広い情報発信を行い、信頼される工場をめざした取組を進めています。



環境社会貢献活動情報誌



# 老舗企業として地域への貢献を目指した集落の共同作業の支援

## 出雲市集落応援隊への登録により集落の共同作業の支援の実践



### 活動の概要

#### 出雲市集落応援隊への登録による集落の共同作業の支援

企業名	株式会社土井豆組	業種	建設業	活動地域	出雲市内の中山間地域
活動種類	集落の共同作業の支援	活動期間	平成22年度～	中間支援組織	出雲市
URL	-				

出雲市に立地している株式会社土井豆組は、創業80年を超える老舗の建設業者として、地域に密着した事業活動を展開しています。そのような中、地域貢献への取組として出雲市の集落応援隊へ登録を行い、出雲市内の社会的共同生活等が困難な集落における共同作業（集落道の草刈りや枝の伐採、水路の清掃等）の支援を行っています。



活動状況（集合写真）



地域との交流（活動後の地域からのもてなし）



### 活動のきっかけ

#### 地域への貢献をめざして出雲市集落応援隊への登録

平成22年度の出雲市集落応援隊の設立当初から参加し、従業員の出身地等の集落での共同作業の支援を行っています。

段階	取組の概要
きっかけ	・地元の老舗企業として、地域の人手不足・高齢化の実情を認識しており、地元を良くしたいという思いを持っていました。
地域の選定	・平成22年度に、出雲市にて集落応援隊の活動を始めることを知り、地域への貢献を図るため登録することを決めました。登録の際には、従業員に対して取組む旨の説明を行い、従業員の理解を得るよう努めました。
地域との合意	・中間支援組織である出雲市からの支援要請の連絡を受け、対応可能な活動へ参加しています。





# 地元で愛される企業をめざし集落の共同作業の支援

大分県の小規模集落応援隊の活動から、地域との深いつながりへ



## 活動の概要

### 大分県の小規模集落応援隊への参加による集落の共同作業の支援

企業名	ソニーセミコンダクタ株式会社 大分テクノロジーセンター	業種	製造業	活動地域	大分県国東市赤松地区
活動種類	集落の共同作業の支援	活動期間	平成21年～	中間支援組織	大分県/国東市
URL	<a href="http://www.sony-semiconductor.co.jp/syakaikouken/index">http://www.sony-semiconductor.co.jp/syakaikouken/index</a>				

ソニーセミコンダクタ(株)大分テクノロジーセンターは、大分県の小規模集落応援隊に登録し、大分県国東市赤松地区の集落の共同作業の支援を行っています。

国東市赤松地区は、人口約130人、高齢化率は約56%と、中山間に位置する小さな集落であり、集落の共同作業を行うことが困難な状況にありました。

小規模集落応援隊の活動は年2～3回程度、10名程度の社員が赤松地区に行き、道路の補修や草刈、清掃作業等の集落の共同作業の支援に取り組んでいますが、この活動を機に、地域住民とのつながりを深めています。



小規模集落応援隊の活動



## 活動のきっかけ

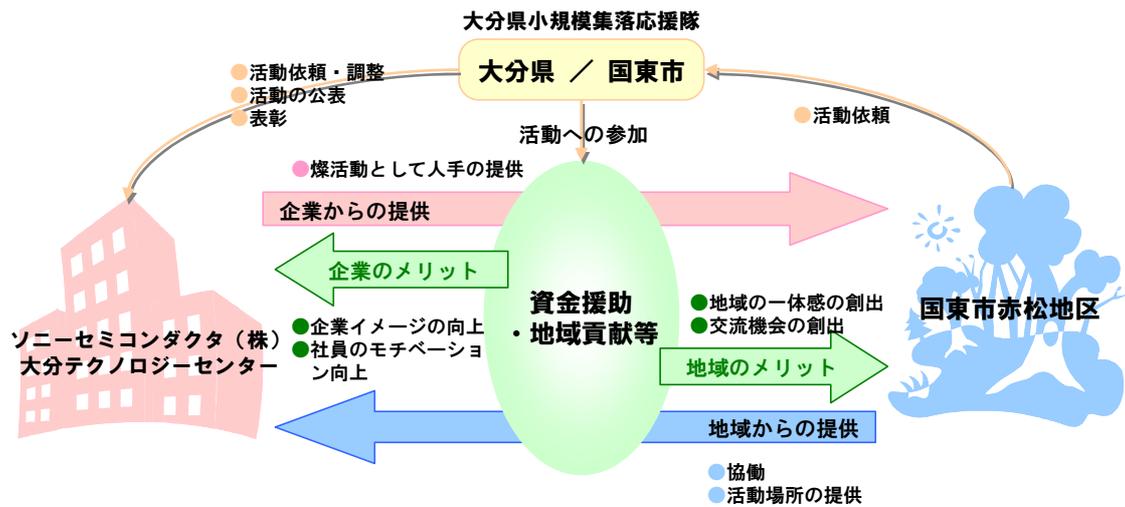
### 工場が立地する地元への貢献方法を模索する中での大分県からの打診

1984年に会社を設立した国東市へ貢献したいという思いが高まる中で、大分県の小規模集落応援隊の取り組みを知り、活動に参加することとしました。

段階	取組の概要
きっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社員が参加する海岸清掃ボランティア等の社会貢献活動を取組んできましたが、より国東市に貢献したいという思いが高まっていました。</li> <li>平成21年度に大分県から小規模集落応援隊を始めたいので、協力してもらえないかとの打診がありました。</li> </ul>
地域の選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域貢献や社内の活性化を目的とした社内組織「燦グループ<sup>さん</sup>」が主体となって、大分県の小規模集落応援隊への登録を決めました。</li> </ul>
地域との合意	<ul style="list-style-type: none"> <li>大分県東部振興局から活動先として、赤松地区の紹介を受け、活動を開始することとなりました。</li> </ul>



## 【取組の体制】



## 取組の特徴

集落支援の活動から、企業と地域の深い結びつきへ！

## 表彰により対外的なPRと社内の活動に対する理解の向上！

活動は、地域貢献や社内の活性化を目的とした「燦活動」のメンバーが業務の一環として取り組んでいますが、活動の継続には社内の理解を高めることが重要と言えます。

そのような中、2010年7月に、小規模集落応援隊への積極的な参加が評価され、大分県小規模集落対策本部（本部長：県知事）から表彰を受けました。

表彰は、活動の対外的なPRはもちろんのこと、社内における活動への理解や評価を高めることにもつながりました。



大分県知事からの表彰

## 遊休農地を活用した「ふれあい農園」での取り組み！

平成21年からはじまった小規模集落応援隊の活動を機に、企業と地域の関係が深まり、赤松地区にて、遊休農地を活用した芋掘り体験用の農園「ソニーふれあい農園」を開設しました。

「ソニーふれあい農園」では、春の植え付けや秋の収穫祭等のイベントを地域と協働で催しており、社員の家族や地元の子供たちも参加し、企業と地域住民の交流の場となっています。



ソニーふれあい農園での活動状況



# とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業への参加による社会貢献活動

地域に育てられている球団としての感謝と、愛される球団をめざして



## 活動の概要

地域の皆様方に愛される球団をめざして

企業名	徳島インディゴソックス球団	業種	野球興行	活動地域	徳島県内の農山漁村地域
活動種類	協働活動による集落支援	活動期間	3年未満	中間支援組織	徳島県
URL	<a href="http://www.indigo-socks.com/">http://www.indigo-socks.com/</a>				

四国アイランドリーグの野球チーム・徳島インディゴソックス球団は、徳島県が取組む「とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業」の協働パートナーとして県と協定を締結し、協働活動により徳島県内の農山漁村地域における集落の支援等を行っています。これまで、お祭りでのちょうさ(太鼓屋台)の担ぎ手、ソバの刈取り作業、雛まつりの雛壇の飾りつけ等、様々な活動の支援を行っています。



ちょうさ(太鼓屋台)の担ぎ手として参加

地域の皆様方に愛される球団をめざして、積極的な社会貢献活動に取り組む中で、地域の方々との交流を深めています。



## 活動のきっかけ

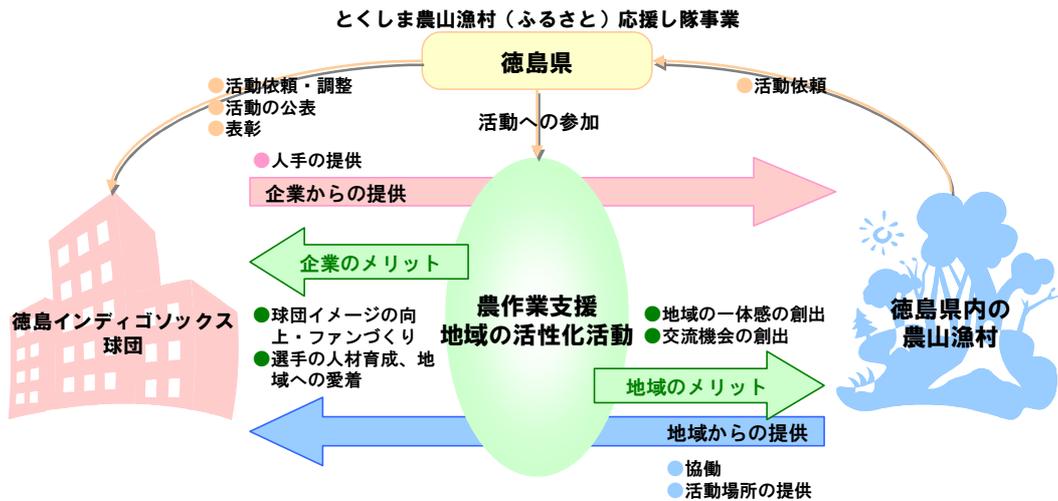
球団の理念である「選手の育成」と「地域貢献活動」の実践

球団の理念の実践として、農山漁村を支援する方法として、「とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業」へ参加しました。

段階	取組の概要
きっかけ	・球団の理念として、「選手の育成」と「地域貢献活動」を掲げ、これまでも、地域に根ざした活動として、野球教室やスクールガード(児童の下校時の見守り)、ECO活動(清掃活動)等を取組んでいます。
地域の選定	・過疎化等によって厳しい状況にある農山漁村を支援したいという思いが高まり、具体的な方法を模索していたところ、徳島県が「とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業」に取り組むことを知りました。
地域との合意	・「とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業」が、球団の理念に掲げている「選手の育成」と「地域貢献活動」の実践にふさわしい取組であることを踏まえ、参加することを決めました。



【取組の体制】



取組の特徴

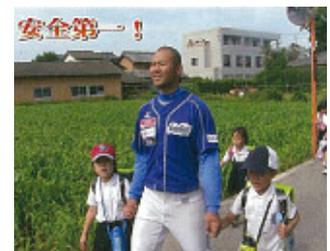
地域貢献を通じた人材育成と球団のファンづくり！

球団と選手間の契約の中に社会貢献活動を位置づけ！

球団と選手間の契約の中には、チームの一員として積極的に地域貢献活動を行うことが含まれています。また、新人講習の中でも地域貢献活動の教育が取組まれており、選手一人ひとりに地域貢献活動へ参加する姿勢が育まれています。

球団には若い選手が多く、社会貢献活動への取組を通じて、社会と触れ合う機会を持ち、人間的にも成長するきっかけとなっています。

また、県外出身の選手も多く、様々な地域での社会貢献活動に取り組むことで、徳島の文化や食材に触れ、徳島への愛着を高めることにもつながっています。



様々な社会貢献活動

社会貢献活動が球団のファンづくりにつながっています！

社会貢献活動を通じて、地域住民の方々との交流機会を設けることで、地域の維持や活性化につながるるとともに、徳島インディゴソックス球団のファンづくりにつながっています。

活動の支援として訪れた地域の方々が、球団の試合の応援に来てくれる等、地域に愛される球団となっていくことを実感しています。



様々な社会貢献活動



# 食を通じた地域活性化への取組

## 「うきさとむら」への応援と感謝を込めた支援



### 活動の概要

#### 売上の一部を宇気郷地区の住民協議会へ寄付

企業名	株式会社フーズクリエーション	業種	飲食業	活動地域	三重県松阪市宇気郷地区
活動種類	資金援助	活動期間	平成23年～	中間支援組織	松阪市・観光協会
URL	<a href="http://www.foods-creation.com/service/">http://www.foods-creation.com/service/</a>				

(株)フーズクリエーションでは、「三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島」内にある「ナガシマキッチン内松阪 Grill店」において、松阪市宇気郷地区の「お食事処うきさとむら」と共同開発したメニューとして「かしわ焼き肉セット」と「唐揚げセット」を提供しています。

また、このメニューには、宇気郷地区の食材を活用しており、地区への感謝の気持ちとして、その売上の一部（1食あたり10円）を地区の住民協議会へ寄付し、地域の活性化に貢献しています。



松阪市宇気郷地区の「お食事処うきさとむら」



### 活動のきっかけ

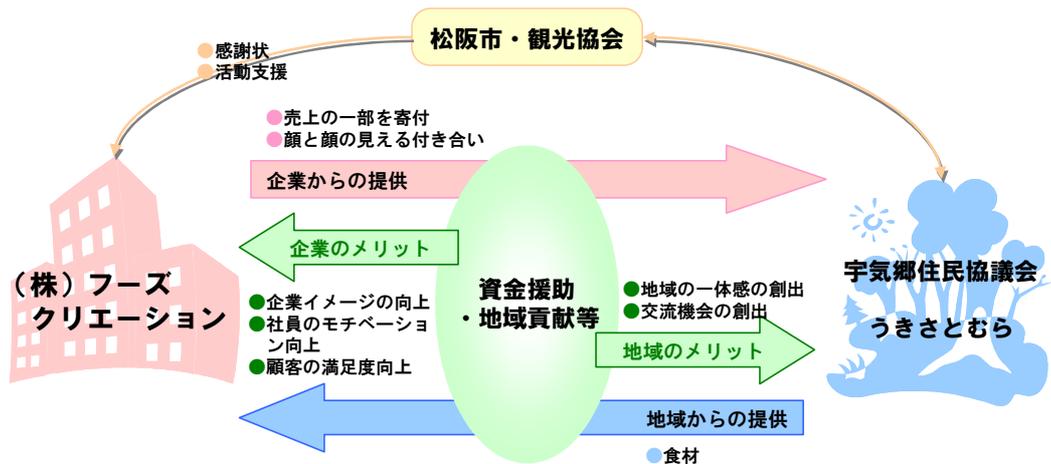
#### 食材の提供への感謝と地域への応援の気持ちから支援を提案

企業として社会貢献活動に取り組みたいという機運が高まっていた中で、またビジネスとして新たな食材を探していたところ、松阪市宇気郷地区に出会い、地域への応援として取り組み始めました。

段階	取組の概要
きっかけ	・企業として成長する中で、社内において地域貢献に取り組みたいとの機運が高まっていました。
地域の選定	・ビジネスとして、新たな「三重飯（三重をコンセプトとしたメニュー）」の食材を探していた際に、様々な活動を行っている松阪市に直接連絡を行ったところ、宇気郷地区の紹介を受けました。
地域との合意	・「食事処うきさとむら」との共同メニューの開発を進める中で、企業として地域へ協力したいとの思いが高まり、売上の一部を宇気郷地区の住民協議会に寄付することとなりました。



## 【取組の体制】



## 取組の特徴

地域・企業だけのメリットだけでなく、お客様も温かい気持ちに！

## お客様も食事をとることで地域貢献活動へ参加！

宇気郷地区への寄付については、ナガシマキッチンの店内にも掲示しています。お客様自身が「うきさとむら」のメニューを食べることで、地域に貢献できることから、お客様にも温かい気持ちになっていただけていると感じています。

また、ナガシマキッチンで食べたことをきっかけとして、宇気郷地区を訪れた人もおり、様々な面で地域の活性化に寄与しています。



かしわ焼き肉セット（980円）

## 活動がマスコミ等に取り上げられ売上にも寄与！

(株)フーズクリエーションとうきさとむらの取組は、松阪市や松阪市観光協会等の支援により、幅広いPRが図られました。また、マスコミにて「コミュニティビジネスの第一歩」として取り上げられた話題性等もあり、平成24年3月には、フードコートにある52のメニューにおいて売上げ1位となっています。



ローカルニュースの話題となった様子



# 所縁の深い井原市との「まちづくり」に関する協定の締結

井原市内のビール等の販売実績に応じた「まちづくり協力金」の寄付



## 活動の概要

市内のビールの販売実績に応じまちづくりへの寄付

企業名	サッポロビール株式会社 中四国本部	業種	製造・販売	活動地域	岡山県井原市
活動種類	資金援助	活動期間	平成24年～	中間支援組織	—
URL	<a href="http://www.sapporoholdings.jp/csr/news/2012/2012_0124.html">http://www.sapporoholdings.jp/csr/news/2012/2012_0124.html</a>				

サッポロビール(株)中四国本部は、サッポロビールの前身である「大日本麦酒」の初代社長であり、「東洋のビール王」といわれた故馬越恭平氏の出身地である岡山県井原市との間で、「まちづくり」に関する協定を締結しました。

協定に基づき、市のまちづくり全般に活用していただくことを目的に、市内でのビール等の販売実績に応じた寄付を行っています。瓶・缶ビールは1本当たり1円、生ビールは1リットル当たり1円、関連会社のサッポロ飲料(株)でも、ジュース1本当たり3円の寄付を行っています。



取組を紹介するパンフレット



## 活動のきっかけ

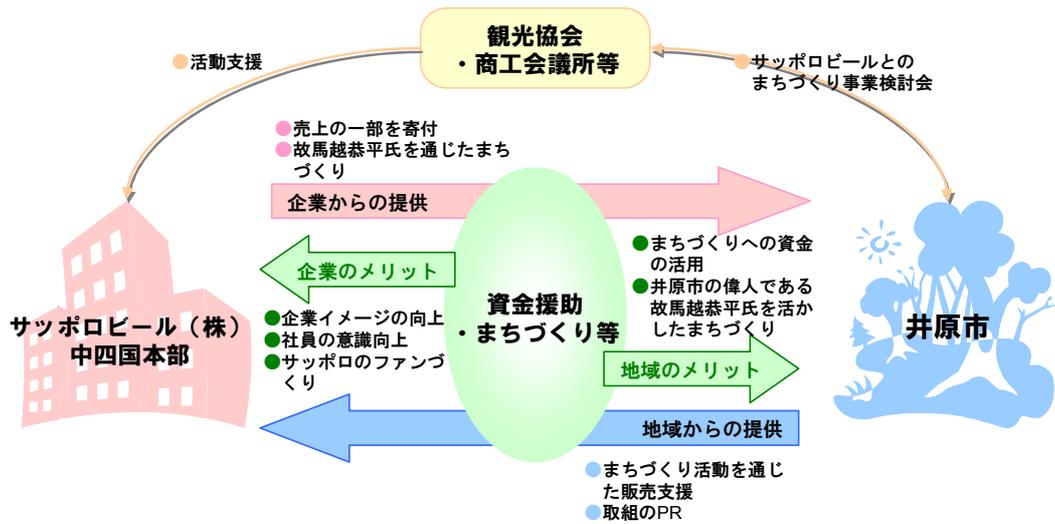
所縁のある井原市への地域貢献をめざした取組

所縁のある井原市との話し合いの機会を通じて、まちづくりへの貢献を形にする提案を行い、「まちづくり」に関する協定を締結することとなりました。

段階	取組の概要
きっかけ	・サッポログループ企業行動憲章に定めている「社会貢献への主体的・積極的な取組」の実現として、具体的な地域貢献の方法を模索していました。
地域の選定	・井原市は、故馬越恭平氏の出身地であること、岡山ワイナリーにて井原産のブドウを使用したワインを生産する等、所縁のある地域となっていました。そのような状況の中、井原市と話し合う機会があり、まちづくりへの貢献を形にしていきたいとの思いが高まり、寄付を行うことを提案しました。
地域との合意	・井原市との具体的な方法等の話し合いを進め、平成24年1月に、「まちづくり」に関する協定を締結することとなりました。



【取組の体制】



取組の特徴

地域の方々の様々な支援を受けながらサッポロのファンづくり！

社会貢献活動を通じたサッポロのファンづくりにより販売実績の増加へ！

ビール業界は人気商売ともいわれていますが、協定の締結を機に、井原市との協働によるイベントの開催等に取り組む、サッポロのファンづくりにつながっています。実際、井原市内の販売実績が前年に比べて約3割増となり、企業にとっても大きな効果を得ています。

また、井原市とサッポロビールの双方にとって所縁のある故馬越恭平氏のPR活動等に協働で取り組むことで、企業・地域ともに知名度の向上が図られています。



馬越恭平氏生家

地域の熱意を感じる「サッポロビールとのまちづくり事業検討会」設置！

協定の締結を機に、井原市、井原市観光協会、商工会議所等から構成される「サッポロビールとのまちづくり事業検討会」が設立され、サッポロビールと連携した様々なまちづくり活動に取り組む地域の受入体制が確立されました。

平成24年8月には、「星空ビアガーデン いばら星の会ビール祭り」が開催され、約500人が、サッポロビールを飲みながら夏の夜を楽しみました。なお、ビール祭りでは660リットルが飲み干され、お酒を飲むことが地域貢献につながる仕組みとして、参加者からも喜ばれました。



イベントPRチラシ



## 農業者等との連携による地産地消の推進及び地域経済への貢献

### 地元の農業者等への販売スペースの貸し出しによる地産地消の推進



#### 活動の概要

##### 店舗スペースを農業者等に貸し出し、地域農産物等の販売促進

企業名	株式会社キヌヤ	業種	小売業	活動地域	島根県益田市周辺
活動種類	販売支援	活動期間	平成22年～	中間支援組織	—
URL	<a href="http://www.kinuya.co.jp/">http://www.kinuya.co.jp/</a>				

島根県、山口県の両県で、店舗を展開しているスーパーマーケットである株式会社キヌヤは、主な商圏である島根県江津市から山口県萩市周辺の農業者や食品メーカー等により構成される「キヌヤローカルブランド協力会（略称：LBクラブ）」（個人の農業者281名、農業法人40社、その他164社）を設立し、地産地消の促進や新商品の開発等に取り組む、事業活動のなかで地域経済の活性化に取り組んでいます。



キヌヤ店舗

その取組の一つとして、店舗のスペースに地産地消コーナーを設け、LBクラブのメンバーに手数料のみで貸し出し、地域農産物等の販売促進に努めています。また、LBクラブ内のメンバー同士の連携が高まり、地元の食材を使った商品開発等の取組も広がっています。



#### 活動のきっかけ

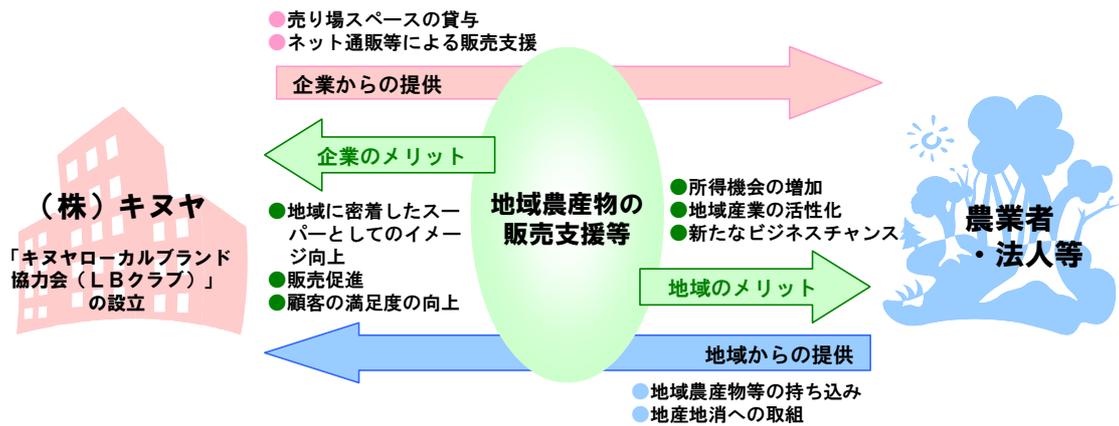
##### 地産地消の達成のため、商圏を通じた活動の実施

企業理念として「商業を通じて地域社会に奉仕しよう」を掲げたことを契機に、その実践を図るためにLBクラブの設立を図りました。

段階	取組の概要
きっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業理念に“商業を通じて地域社会に奉仕しよう”を掲げ、その具体的な実現方法の検討に取り組んでいました。</li> <li>プロジェクトチームで検討を進め、LBクラブを設立し、地域の農産物を地域で販売・消費するシステムづくりに取り組むこととしました。</li> </ul>
地域の選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>LBクラブの設立に向け、益田市の協力を得ながら、地元の農業者や食品メーカー等へ声かけを行い、メンバーの募集を行いました。</li> </ul>
地域との合意	<ul style="list-style-type: none"> <li>設立趣旨に賛同していただいた農業者・法人等の参加を得て、平成22年7月にLBクラブを発足させました。</li> </ul>



## 【取組の体制】



## 取組の特徴

## 地域産業への貢献を目指した推進

## 地産地消の推進により、お客様、農業者、企業にメリット！

LBクラブを通じた地産地消の推進により、安全・安心な食の提供を行い、お客様の満足度の向上が図られています。また、地産地消コーナーが定着し、LBクラブの取組に関する売上が伸びを見せており、スーパーマーケットとしての販売促進に寄与しています。

一方、スーパーにとっては、農業者等の取引先もお客様であり、顧客の収入増加、ひいては、地域経済の活性化に寄与していると自負しています。



店舗の地産地消コーナー

## 「“地産地消”から“地産外商”へ。」で地域経済の活性化をめざして！

「“地産地消”から“地産外商”へ。」というキャッチフレーズのもと、地元の食材を県外にも発信し、地元経済の活性化をめざしています。

その一つとして、LBクラブのメンバーの共同によるネット通販（LBクラブ産品ぶちうまカタログ）を運営し、地元の個人の農業者や零細な法人等の支援を図り、地域の農産物や特産品の販路拡大等に取組んでいます。



ネット通販

## 中間支援組織の取組事例

# 出雲市集落応援隊

社会貢献活動を行う企業等による「集落応援隊」で集落を支援



## 活動の概要

企業等を集落応援隊として登録し、集落の共同作業等を支援

中間支援組織名	出雲市集落応援隊	活動地域	島根県出雲市内	活動期間	平成22年～
URL	<a href="http://www.city.izumo.shimane.jp/www/genre/000000000000/1278922486425/index.html">http://www.city.izumo.shimane.jp/www/genre/000000000000/1278922486425/index.html</a>				

全国各地で高齢化・過疎化が進み、出雲市の集落においても、道路側溝の泥上げ、草刈、除雪、集会所の掃除、お祭り等の集落の共同作業が困難になりつつある地域が増えています。

そのため、出雲市集落応援隊は、社会貢献活動を行う企業や団体、個人を「集落応援隊」として登録し、集落の応援活動の実施を呼びかけ、集落の住民のみでは解決できない共同作業等の支援を行っています。



## 活動の仕組み

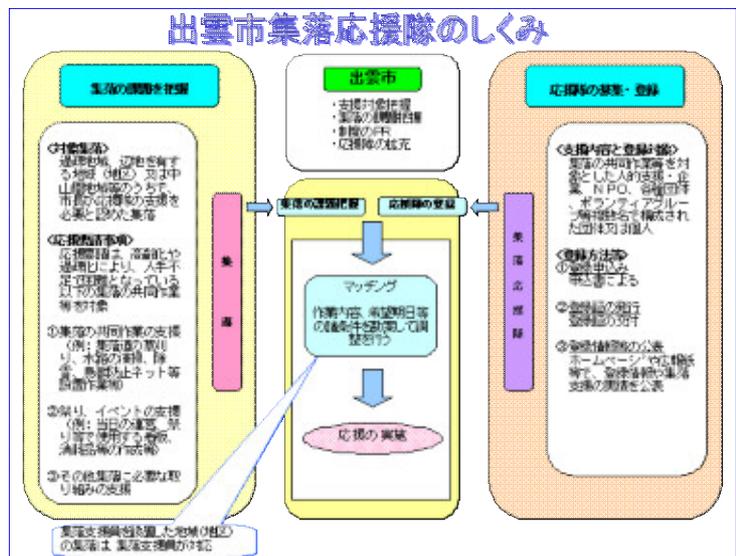
### 集落からの応援要請と集落応援隊のマッチング

集落応援隊として、20団体、13個人の登録（平成25年8月現在）があり、集落応援隊として登録した企業等に対しては、「出雲市集落応援隊登録証」を発行しています。

出雲市が集落の応援要請を受け付け、集落応援隊の皆様に対して、応援要請の内容（作業内容、場所、時間、集合場所等）を発信し、参加の可否を確認します。参加可能と回答いただいた集落応援隊と調整を行い、応援活動を実施しています。

出雲市としては、集落応援隊の募集・登録、地域と集落応援隊のマッチングが主な役割となりますが、活動の参加者に対する保険の加入、活動の準備として各種の手続き（道路沿いの樹木の伐採時等における道路占用許可申請等）、資機材の手配（市所有のものに限る）、活動後の活動内容の公表等を行っています。

なお、集落応援隊を派遣する地域は、集落支援員を配置しているモデル的な地域であり、集落支援員が、地域の「目配り役」や「巡回」、「現状の把握」を行いながら『集落（地元）と市の間に入り応援隊の派遣調整』を行っています。



出雲市集落応援隊のスキーム



## 取組の特徴

### 中間支援組織である市、地域、企業の連携

#### 出雲市の担当職員が必ず参加！

集落の応援活動の際には、担当課の職員が必ず出席し、地域と企業の円滑な連携、安全性の確保に配慮しています。

特に、安全面については、活動の開始前における危険な作業に関する周知徹底、熱中症対策のための適度な休憩や水分補給の声かけ等を行い、事故や怪我等が生じないように努めています。

#### 出雲市として集落応援隊へ登録した企業等のメリット創出！

出雲市は、集落応援隊の活動を継続していただくため、登録した企業等へのメリットを提供するよう努めています。そのため、登録企業や活動内容をホームページや広報等により公表するとともに、積極的な応援活動を行った登録者の表彰等を行っています。

#### 出雲市の集落支援員制度の活用！

出雲市では、平成22年度から集落に安心して住み続けられるよう「集落支援事業」として、「出雲市集落支援員の配置」と「出雲市集落応援隊の結成」の2つの柱による取組を進めています。

集落応援隊の活動は、集落支援員を配置している5つのモデル地区で実施し、集落支援員が集落と企業等を結ぶ窓口として活躍しています。

**平成24年度 集落応援隊活動 第8回**

8月 平成24年8月5日(日) 9:00~

実施先 出雲市佐田町 山平集落

活動内容 佐田町佐田町にある山平集落の道路の舗装工事。11箇所ある道路のうち、今回は5箇所から開始し、天候によっては途中で中止の予定です。

作業内容 道路の舗装工事、除草、ゴミの回収作業

参加企業 山平集落の企業からボランティアを募集しています。

活動中、安全ヘルメットも一着と新車も届いたお礼に、お礼の言葉をいただきました。ありがとうございました。これからも集落の発展に貢献してまいります。

活動後、集落の中心から歩いて約10分程度の距離にある山平集落の「集落でしん」でもお茶をいただきました。

参加企業	従業員数	従業員数
①-1 株式会社山平建設	5名	5名
①-2 株式会社山平建設	1名	1名
①-3 山平建設株式会社	3名	3名
①-4 株式会社山平建設	1名	1名
①-5 山平建設株式会社	1名	1名
①-6 山平建設株式会社	1名	1名

この活動は、集落の発展に貢献しています。ご参加ください！

活動中、安全ヘルメットも一着と新車も届いたお礼に、お礼の言葉をいただきました。これからも集落の発展に貢献してまいります。

TEL: 0853-21-6519 FAX: 0853-21-6599

出雲市集落応援隊の活動状況

# とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業

## 地域貢献に関心の高い団体と農山漁村の地域住民との協働活動



### 活動の概要

#### 社会貢献に前向きな企業等と応援を求める農山漁村地域のマッチング

中間支援組織名	応援し隊事業	活動地域	徳島県農山漁村	活動期間	3年未満
URL	http://www.pref.tokushima.jp/tanada/ouen/				

徳島県の面積の約8割は「中山間」と呼ばれる農山漁村地域が占めており、その大半が、過疎化・高齢化し、集落の活動が困難となる地域がみられるとともに、耕作放棄地の増加等が進み、深刻な状況に直面しています。

そこで、「社会貢献に前向きな“企業・大学・NPO等”」と「応援を求める“農山漁村地域”」の間を徳島県が取り持ち、農作業支援や地域の活性化活動を両者の協働により実施し、農山漁村地域の維持保全に役立てようと取組んでいます。



### 活動の仕組み

#### ふるさと団体と農山漁村協働パートナーのニーズを結びつけた協働の活動

徳島県は、農山漁村を応援したい企業等（「農山漁村（ふるさと）協働パートナー」。以下、「協働パートナー」という。）と、応援を受けたい農山漁村の団体（「ふるさと団体」という。）のそれぞれを募集しています。

ふるさと団体の「人手がほしい」や「農村に来て欲しい」等のニーズと、協働パートナーの「社会貢献がしたい」や「ビジネスに活かしたい」等のニーズを結びつけ、「協働」活動を行うことで、新たな交流が生まれ、双方にメリットをもたらす継続性のある活動をめざしています。

事業の進め方は、応援したい企業等と県が「農山漁村（ふるさと）協働パートナー」協定を結び、応援を希望するふるさと団体の要望等の情報提供や仲介を行い、各農山漁村地域で活動を行うこととなります。

現在、協働パートナーとして29団体が登録し、中山間地域の活性化に向け、ふるさと団体との協働により、様々な活動を展開しています。



とくしま農山漁村（ふるさと）

応援し隊事業のスキーム



## 取組の特徴

### 企業等と地域の双方にメリットのある協働活動

#### 協働パートナーの募集における細やかな対応！

「協働パートナー」の募集は、徳島県のホームページやパンフレット等による情報発信と併せて、問合わせ等のあった個々の企業に徳島県職員が足を運び、説明を行って来ました。そのような取組により、平成22年度の活動当初の8団体から、現在は29団体と着実に増えています。

企業等の方々の協力を得るためには、事業の内容や意義等を理解していただくための細やかな対応が必要と言えます。

#### 知事との協定締結式で情報発信！

企業と徳島県が「協働パートナー」としての協定を結ぶ際には、知事との協定として締結式を開催し、広くマスコミ等への情報発信を行っています。協定を結んだ企業からは、知事との協定によって企業のイメージアップにつながると喜ばれています。

また、「協働パートナー」の一覧を整理した取組のパンフレットをスーパーに配布する等、様々な形で企業のPRに努めています。



企業との協定の締結式

#### 協働活動の一体感の醸成！

活動の際には、協働活動における一体感を高めるとともに、ホームページ等にて活動状況の情報発信を行うため、「応援し隊事業」のノボリと横断幕を準備し、参加者全員での記念撮影を行うこととしています。

ノボリ・横断幕等を準備することによって、活動の認知が高まり、企業からの参加者や地域住民の方々からも活動のシンボルとして親しまれています。



活動の際の記念撮影

#### 「協働パートナー」は商品提供等、様々な形での応援を実施！

多くの「協働パートナー」は、人手の支援として「ふるさと団体」との協働活動に参加していますが、飲料メーカーからは、活動時における飲料の商品提供をいただく等、様々な形での応援が行われています。

複数の「協働パートナー」が、それぞれの立場で無理のない支援を行うことで、この取組が成り立っているとと言えます。

# 大分県 小規模集落応援隊

生活を守り、集落に住み続けていくことのできる環境を整備するしくみ



## 活動の概要

人手不足で困っている小規模集落の応援

中間支援組織名	小規模集落応援隊	活動地域	大分県内の小規模集落	活動期間	平成21年7月～
URL	<a href="http://www.pref.oita.jp/site/78/">http://www.pref.oita.jp/site/78/</a>				

大分県では、住民の半数以上が65歳以上の集落や自治区等を「小規模集落」と呼んでおり、平成24年3月末時点で、県全体の14.1%を占める602集落が該当しています。

このような小規模集落では、人手不足で集落道の草刈りや地区の集会所の清掃、お祭り等の共同作業が困難になりつつあるため、県内の企業やNPO等の様々な活動団体に、応援隊への登録、応援活動の実施を呼びかけて、小規模集落を支援しています。

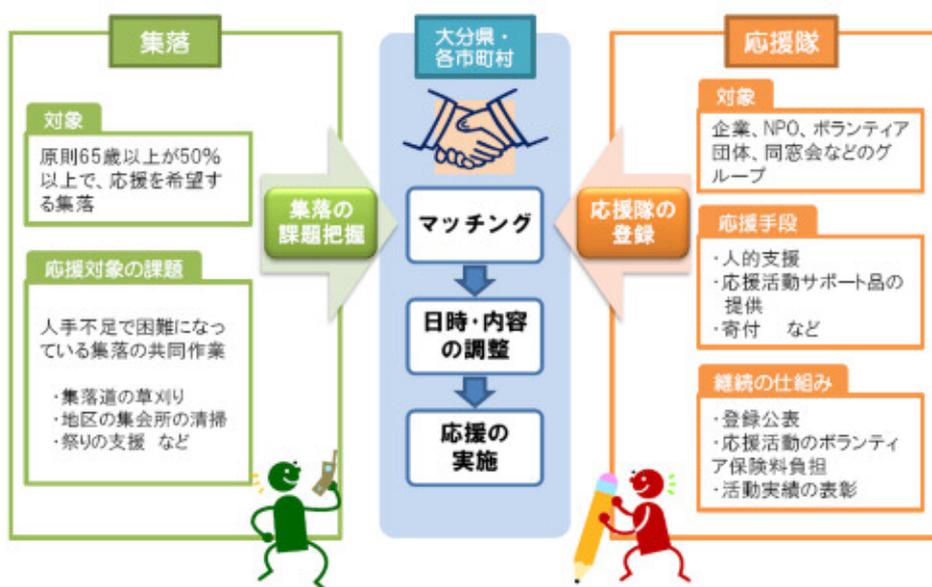


## 活動の仕組み

集落のニーズに対応可能な応援隊のマッチング

応援を希望する集落のニーズ（場所、時期、内容等）に併せて、市町村または県から、応援隊に登録いただいた団体の方へ電話やメールにて作業依頼の連絡を行い、応援の可否を伺います。応援可能であれば、詳細な打合せを行い、応援隊が集落の皆さんと一緒に作業を行うこととなります。

現在、登録いただいている団体は292団体（平成25年2月末現在）となっており、集落の草刈り、水路の泥上げ、集会所や公民館の清掃、祭りの準備や神輿担ぎ等の集落の共同作業の応援を行っています。



大分県小規模集落応援隊のスキーム



## 取組の特徴

### 気軽に取組める応援活動の仕組みづくり

#### 地域内の応援隊に優先して依頼！

集落からの依頼があった際には、市町村内の応援隊に優先して依頼を行う等、地域と応援隊の結びつきに配慮しています。

#### 集落側から気軽に依頼ができる体制！

県と市町村が連携を図り、所管する市町村や県の振興局を受付の窓口として、気軽に相談できる体制づくりに努めています。また、活動の当日には、県・市町村等の担当者が立会い、集落と応援隊の方々の円滑な連携活動が図られるよう配慮しています。

さらに、「小規模集落応援隊活用のでびき」の作成、定期的な広報活動等を行い、企業・地域それぞれに対して、応援隊の理解と活用を広げるよう努めています。当該活用のでびきは、応援隊の理解と活用を広げるため、よくある質問やこれまでの活用事例をまとめたパンフレットで、絵や写真を使ってわかりやすく紹介しています。



小規模集落応援隊活用の手引き

#### 「集落応援隊応援カード」による活動状況の見える化！

大分県のホームページや広報誌、新聞等で、応援隊の登録状況と活動実績を幅広くPRすることで、企業等のイメージ向上につなげています。

また、応援隊へ登録した企業へ「集落応援隊応援カード」を配布し、集落応援活動への参加を行うごとに、行政職員が応援カードに捺印を行い、活動状況の見える化を図る等、企業の取組意欲の向上を図っています。

他にも、優れた集落応援活動を行った応援隊に対し、大分県小規模集落対策本部長（県知事）から表彰を行う等により、応援隊が社会貢献活動に取り組むことへのインセンティブを付与しています。



集落応援隊応援カード

# おかやま元気！集落応援団

岡山県内の企業等の団体が集落活動を支援



## 活動の概要

県民協働による中山間地域の活性化

中間支援組織名	岡山県中山間地域協働支援センター運営事業	活動地域	岡山県	活動期間	平成22年度～
URL	<a href="http://blog.canpan.info/chusankan_oka/">http://blog.canpan.info/chusankan_oka/</a>				

岡山県の面積の75%を占めている中山間地域の活性化のためには、中山間地域の現状と活性化に向けた取組に対する県民の理解と参加が不可欠です。そのため、岡山県では、県民協働により活性化に取り組むために、平成22年度から「岡山県中山間地域協働支援センター事業（以下「センター事業」という。）」を実施しています。



## 活動の仕組み

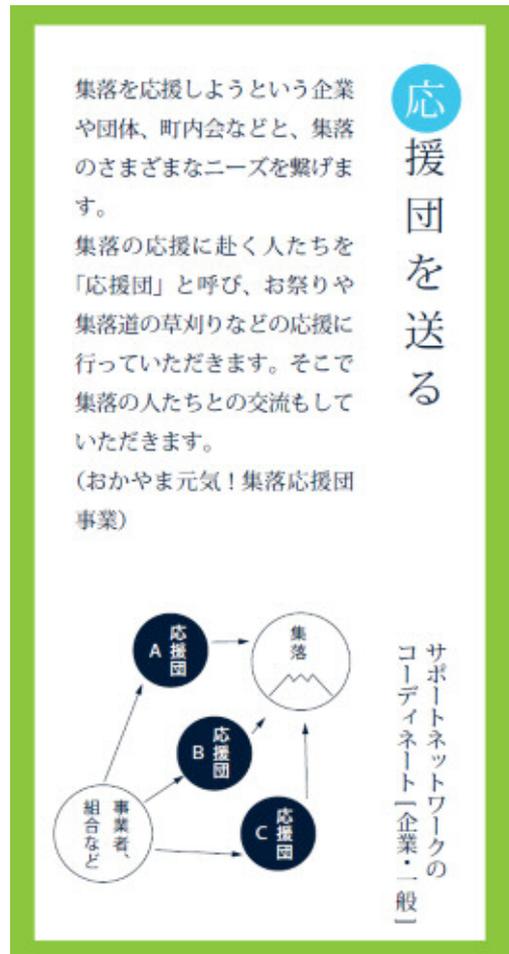
ニーズのある集落と役立ちたい企業等をつなぐ

センター事業では、3つのNPO（岡山NPOセンター、まちづくり推進機構岡山、吉備野工房ちみち）に委託し、中山間地域の取組の裾野の拡大に向けた「おかやま元気！集落応援団の派遣」を行っています。

この「おかやま元気！集落応援団（以下「応援団」という。）」は、中山間地域が過疎化・高齢化により人手不足になっていることから、草刈りや掃除、お祭り等の集落の共同作業を支援するものです。

NPOや大学、企業等を応援団として岡山県中山間地域協働支援センターに登録し、「おかやま元気！集落※」からの要望に基づき、応援の内容や人員、日程等の調整を行った上で、応援団をボランティアとして派遣しています。

※小規模高齢化集落等の単独では集落機能の維持が困難な集落が含まれる地域において、小学校区・大字等の広域的な地域運営により、集落機能の維持・強化に取り組んでいる地域。



「おかやま元気！集落応援団事業」の概要



## 取組の特徴

### 岡山県とNPOの役割分担

#### NPOとしての豊富なノウハウ、フットワークの良さ！

センター事業は、地域の中で様々な活動を行っている団体等とつながりが深いNPOに委託することにより、NPOの持つ、豊富なノウハウとフットワークの良さ（迅速で柔軟な対応）で中山間地域の活性化を図っています。

#### 活動内容に適したアドバイザー、人材を派遣！

センター事業は、「交通」「医療や見守り・孤独死」「買い物」「防災」「農地や森林の管理」「農作業や林業の体験・サポート」「農業・林業加工品の開発」「観光や交流」「経済」「住居」「これらの取組の法的・税的諸問題」等、具体的で多様な課題を解決する実践的な取組が可能となるノウハウと人材を活かしたネットワークによる仕組みの構築を目指しています。

地域の課題、活動内容に応じたアドバイザーを、活動の計画段階から派遣し、地域と企業の効果的な活動に向けた調整や支援を行っています。

#### 応援団をホームページで紹介！

ポータルサイト「おかやま元気！集落応援ネット」において、応援団の登録リストを公開するとともに、その活動内容についても広く紹介し、企業のイメージ向上に努めています。



「おかやま元気！応援団」の募集用リーフレット

# 鳥取県「とっとり共生の森支援事業」

## 環境貢献活動を行う企業、NPO等民間団体の支援制度



### 活動の概要

#### 企業・NPO等の参画団体の理念に沿った森づくり活動

中間支援組織名	鳥取県農林水産部森林・林業振興局 森林づくり推進課	活動地域	鳥取県内	活動期間	平成18年～
URL	http://www.pref.tottori.lg.jp/				

鳥取県では、企業・NPO等民間団体の環境貢献や社会貢献活動の取り組みを、県内の森林フィールドに呼び込む「とっとり共生の森支援事業」を展開しています。

当事業は、森林所有者の方々に無償で一定期間森林を提供していただき、その間に参画団体の方が、その理念に沿った主体的な森づくりを行う取り組みを鳥取県と市町村が支援するものです。



### 活動の仕組み

#### 県・地元市町村が連携し、森林所有者と企業等との架け橋となりマッチング

「とっとり共生の森」参画企業等は17企業・団体で、県内19箇所において森林保全活動を行っています(平成25年度末現在)。

参画企業等と鳥取県と市町村の三者で森林保全・管理協定を締結することで、県・地元市町村が連携し、森林所有者と参画団体との架け橋となり、地元との調整や企業等の森林保全に関する活動を支援しています。

具体的には、森林所有者から一定期間、無償で土地を提供していただき、受入れ側の各市町村などの協力を得て、企業等

の要望に沿った活動場所を提供するとともに、保全活動の計画策定時に専門的なアドバイス等を行っています。また、マッチングする森林は、参画企業等の要望や所縁を取り入れ、そこで活動する動議付けを重要視し、条件に合う地区を提供できるよう努めています。

その他、鳥取県では参画企業等による「とっとり共生の森」の取組を知事の活動機会や県のホームページ、各団体の活動状況パネルの作成・展示や国主催のイベントブースへの出展などを通して、積極的なPRを行っています。



「とっとり共生の森」の活動の仕組み



## 取組の特徴

参画団体・地域住民が一体となって活動！

### 活動の考え方に賛同する一般参加者と一体となった活動！

鳥取県では、「とっとり共生の森」の活動の趣旨に賛同し、参画企業等と一緒に活動する県民を募集し、サポーターとして登録しています。

サポーターには、参画企業等の活動に参加し、企業等と協力して「とっとり共生の森」の整備等を行う「活動サポーター」と、参画企業等が必要とする活動の指導を行う「運営指導サポーター」の2種類があります。

登録されたサポーターには各企業・団体の要請を受けて参加していただき、森林を守り育てる意識の高揚を図っています。



一般参加者との活動の様子

### 「とっとり共生の森」に参画する企業間の情報共有の場を提供！

鳥取県では、「とっとり共生の森」に参画し、森林保全活動を実施する企業・団体、関係市町がパートナーとしての繋がりを深め、より一層の活動の充実、支援体制の強化等を図ることを目的に、各主体が参加する意見交換会を開催しています。

この会では、活動の報告や活動の現状と課題及び解決策等について意見交換を行い、情報共有を図っています。



意見交換会の様子

### 楽しみを生み出す活動など、その他の支援も充実！

社会貢献活動とは別途、森林空間を利用した環境教育、森林セラピー、自然観察会の開催や昆虫採取等の地域住民が交流できる場を設け、楽しみを生み出す活動の企画支援を行っています。

また、これらの活動以外にも、体験型社員研修などの企画、研修施設や宿泊施設、講師のご紹介などを含めてサポートも行っています。



森林体験学習の様子

### 既存の活動のフォローアップに重点をおいて支援！

「とっとり共生の森」活動を展開して8年、当初は積極的な企業訪問を行うなど、新規に参画する企業等の掘り起こしを精力的に行ってきました。

現在は、既に参画いただいている企業等が円滑に森林保全活動が行えるよう、フォローアップに重点をおいて支援を行っています。